

# ひかりあふれて

## ■ 楽曲データ

歌詞：原真弓 作詞

楽曲：綱澤僚 作曲

発表：仏教音楽研究所

初演：—

初出：『佛教音楽』第23号 仏教音楽研究所 1991年

管理番号：M0658

## ■ 創作の経緯

「新しい感覚の仏教讃歌を」という仏教音楽研究所（現・浄土真宗本願寺派総合研究所仏教音楽・儀礼研究室）の創作活動の一環として発表。

## ■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第2巻収録

底資料：『浄土の音楽集成 仏教讃歌10 真宗讃歌 カラオケ』 同朋社出版  
1994年

比較資料：『佛教讃歌』 本願寺出版社 1992年

校訂の詳細：特記事項なし

## ■ 解説

明治以降、西洋音楽がどっと日本に入ってきましたが、東西本願寺でも、いち早く西洋音楽の技法に基づく仏教讃歌の創作に力を注いできました。そこから、仏教讃歌の名曲と呼ばれるものが、数多く生みだされました。

《ひかりあふれて》は、西洋音楽と仏教音楽の源である東洋音楽との融合を願って作曲されたものです。その意味では、ポピュラー音楽をいつも耳にしている10代・20代の若い方でも違和感なく、口ずさむことができる讃歌といえるでしょう。年配の方がたは、子どもさんやお孫さんの好きなポピュラー音楽を聞いてみられると、共通の感覚を得ることができるのではないのでしょうか。

## ◆ 作詞者について

原真弓さん（1958～）は、顕如上人400回忌法要のイメージソング《太陽からの手紙》で、西本願寺とのご縁ができました。1984（昭和59）年から作家活動を開始。1988（昭和63）年、独得のストレートな表現が買われ、光GENJIの《サマースクール》《風の大地》で作詞家としてデビューしました。《ひかりあふれて》では、阿弥陀さまの本願のはたらき、お浄土のありさまを直截に

表しています。

#### ◆作曲者について

網澤僚さん（1960～）は、関西を舞台に活躍する作曲家です。この曲は、A・A'・B・B'という形式で作曲されています。Aの8小節で冒頭4小節のリズムがそのまま繰り返かえされるように、親しみやすいリズムの反復で、曲がだんだんと豊かにふくらんでいきます。東洋音楽の五音音階を随所にとり入れ、しかも現代的な和声が用いられています。これからの仏教音楽の方向の一つを示す作品です。

#### ◆詞について

1番の「金樹・銀樹・瑠璃樹」、2番の「琥珀・珊瑚・水晶」はいずれも、阿弥陀さまの浄土を荘厳する宝樹・七宝を意味します。

歌詞の最後の部分「願いとどくときは／蓮の花が咲く」は、阿弥陀さまの大いなる願い（本願）が私たちに届いてくださることを歌っています。私たちの願いを阿弥陀さまに届けるのではないことを、心しておきましょう。

#### ◆歌い方について

①阿弥陀さまの本願のはたらき、お浄土のありさまを歌うのですから、何よりも透明な澄みきった発声を心がけましょう。あの白蓮（びゃくれん）の華が泥沼に根をはって、そこから泥に染まない清らかな華を咲かせるごとく、真に強い透明感を身につけてください。

②ヴィブラートのない、素直な発声を心がけましょう。

③同じリズムの反復が続きます。単調にならないように工夫しましょう。

④全体にレガートに（なめらかに）歌いましょう。8分音符の動きがごつごつとならないよう。

⑤歌い出しの音「あ」は、ことに明るく、十分にのどを開いて。

⑥10小節目の2分音符、12小節目の付点2分音符は、音域としては低いのですが、声が沈まないように気を付けましょう。14・17小節目なども同様です。

⑦16小節目の全音符は、少しクレッシェンド（だんだん強く）するようにふくらませて、17小節目のメゾフォルテ（やや強く）につなげましょう。

⑧18小節目「慈悲」の「じ」をはっきりと発音するために、その前で言葉だけ少し切ってみるとよいでしょう。

⑨24小節目で十分にクレッシェンドして、25小節目のフォルテに入りましょう。休符の間に、息をたっぷり吸いましょう。音楽の流れは止めないように。

⑩26小節目6拍目の「う」、30小節目6拍目の「は」が遅くならないように注意してください。

⑪33～40小節目は、25～32小節目とまったく同じメロディーです。33小節目以降はより強く、阿弥陀さまの願いに生かされる深い喜びと共に、大らかに歌いあげましょう。

⑫26・34小節目の「じゅ」、28・36小節目の「て」には、16分音符の装飾があります。レガートに歌いましょう。

#### ◆用途

法座・研修会などで歌ってください。ことに、青少年層や若婦人の集いなどでは、積極的に取りあげていただきたいものです。

ピアノ伴奏の楽譜は『聖歌・讃歌集』第2巻をご覧ください。音源は、CD『ひかりあふれて』に収録されています。

また、二部合唱版の楽譜は『讃歌集 二部合唱』第6巻に掲載されています。音源はCD『讃歌集二部合唱 あなたと出逢って』をご参照ください。

解説執筆：大分哲照（御堂演奏会指揮者 福岡教区西嘉穂組明圓寺住職）

※本解説は、「メロディーの宝石箱」No. 13（仏教婦人会総連盟機関誌『めぐみ』第138号収録）を加筆・修正のうえ、転載。

Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.